

## 2 廊下等

### (1) 廊下等

	目 標 と な る 指 針	図面及び各項目 の名称・番号等	設 計 内 容	判 定	留 意 事 項
				指 針	
廊下等	粗面又は滑りにくい床仕上材		(床仕上材)		
	視覚障害者の通行の安全上支障となる突出物を設けない。				
	段の有無 〔 段がある場合には、(2) の表の廊下等に設ける段の欄で確認してください。 〕		(段の有無) ・有 ・無		
直接地上へ通ずる出入口又は駐車場へ通ずる出入口から各室の出入口に至る経路となる廊下等	内のり幅1.8m以上 (末端付近及び区間50m以内ごとに車椅子がすれ違える部分 (概ね180 c m角以上) を設ける場合は、1.4m以上)		(最小内のり幅) m (すれ違いスペースの内のり寸法) m (廊下の最大延長) m (すれ違い場所末端) 箇所 (すれ違い場所中間) 箇所		「出入口」の基準を満たすもの (内のり幅90 c m未満のものを除く) の間の経路を全て適合させてください。
	両側に連続した手すりを設置		平面図に設置箇所を記入してください。		
	高低差がある場合には、傾斜路又は段差解消機を設置 〔 傾斜路がある場合には、(2) の表の廊下等に設ける傾斜路の欄で確認してください。 〕		(設置する設備の名称) ・傾斜路 ・段差解消機		
	出入口、エレベーター、段差解消機の昇降路の出入口及びエスカレーターの乗降口に接する部分の床の水平を確保				
	適切な位置に休憩用の設備を設置		・固定式のベンチ ・椅子 ・その他 ( )		
	休憩設備を設けている旨を見やすい方法で表示		・標準的な設計の例による。 ・その他 ( )		
直接地上へ通ずる出入口又はエレベーターから受付等までの廊下等	視覚障害者を誘導する施設等の設置		・線状ブロック及び点状ブロック ・音声誘導装置 ・人による誘導 ・その他 ( )		近接する出入口を除き、全ての出入口からの経路を適合させてください。
受付等及びエレベーターの昇降路の出入口に近接する廊下等	視覚障害者の注意を喚起する施設		・点状ブロック ・人による注意喚起 ・その他 ( )		

#### (注意) 1 用語の説明

- (1) 「廊下等」とは、廊下その他これに類するものをいいます。
- (2) 「受付等」とは、人又は「案内標示等」の基準を満たす案内標示等により視覚障害者に建築物全体の利用に関する情報提供を行うことができる場所をいいます。
- (3) 「段差解消機」、「線状ブロック」及び「点状ブロック」については、注意事項（共通）を参照してください。

#### 2 目標となる指針の説明

不特定かつ多数の者が利用する廊下等だけが対象となります。